

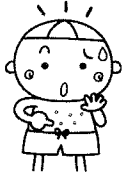
すくすくだより

明照保育園



夏真っ盛りの8月！汗を沢山かく夏場は皮膚のトラブルが起こりやすい時期です。皮膚のトラブルを悪化させないためにも、毎日のケアを大切に行っていきましょう。

夏に多い皮膚トラブル



伝染性膿痂疹（とびひ）

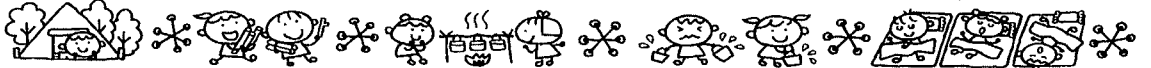
虫刺されや擦り傷、湿疹など掻きむしった後に黄色ブドウ球菌などが感染して起こる病気。透明な水疱ができ、それを掻きむしることで菌がうつってしまいます。主な治療法は抗生物質の使用ですが、衣服を清潔に保つことも大切です。感染してしまうため、患部が乾燥していない場合は必ずガーゼで覆って登園するようにしましょう。発熱を伴う場合もあります。早めに受診をして感染予防に努めましょう。

伝染性軟属腫（水いぼ）

ウイルスに感染してできるいぼの一種です。接触により直接感染します。硬くてつやがあり、真ん中がくぼんでいるのが特徴です。水いぼは脇の下、脇腹、股の付け根など皮膚が擦れ合うところによくできます。放っておくと体中に広がってしまいます。一つでも見つけたら、すぐに病院へいきましょう。医師と相談のうえ、いぼを取ったり、薬で治療したり早急に対応すると、子どもさんへの負担も軽減されると思います。



夏のお出かけ！遠出をしたり、外出先でついついなりがち・・・



おむつ皮膚炎（おむつかぶれ）

蒸れてふやけた皮膚が傷つき、炎症を起こすことです。股やお尻、陰部が真っ赤にただれ痛がります。外出先でも、こまめにおむつを替えお尻を清潔に乾燥させた状態が保てるようにしておくといいですね。なかなか症状が改善されない場合は、カンジタ感染症も考えられるので、皮膚科を受診しましょう。



あせもに注意！

汗や汚れが汗の出口にたまり、汗腺をふさぎ、赤いブツブツが出て炎症が起こることを、あせもといいます。髪の毛の生え際、首、脇の下、膝裏など、汗のかきやすいところにできやすく、痒みがひどくなり掻いてしまうと傷から細菌が入り、化膿することもあります。汗をかいたらタオルで拭いたりシャワーを浴びたりして清潔にしましょう。また、通気性、吸収性のよい服を選びこまめに着替えをさせるようにしましょう。

ひとくならないポイント！

- ★かゆみ止めを塗りかゆみを止める！
- ★掻きむしってしまわないように、ガーゼなどで覆う！（通気性よくこまめに替える）
- ★細菌が入らないよう爪は短く切る！
- ★早めに皮膚科を受診し医師の指示に従う！

虫よけスプレーを活用し虫刺されを予防したり、皮膚を清潔に保つようにすることも大切です。とびひや水いぼは「周りの人に感染させない」感染予防も重要なポイントの一つです。



8月の健診のお知らせ

◇4か月児健診（受付 9:00～10:30）
毎週火曜日：7, 21, 28日

◇1歳6か月児健診（受付 12:50～14:00）
毎週水曜日：1, 8, 22, 29日

◇3歳児健診（受付 12:50～14:00）
毎週木曜日：2, 9, 23, 30日

<場所>保健所・保健センター
<電話> 39-9153

※対象者の方にはご自宅へ健診日の1か月前に健診票を郵送します。ご案内の日時に健診を受けてください。

